

令和7年度（2025年度）

金沢大学法科大学院

入学試験問題

憲 法

A 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は2枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。
5. 解答にあたっては、どの問題から解答しても構いません。ただし、どの問題についての解答であるのかを答案中に明示してください。

令和7年度（2025年度）金沢大学法科大学院入学試験問題

試験科目	憲	法
------	---	---

以下の問題について解答しなさい。

問題1（20点）

次の事例を読み、[問い]に答えなさい。

Aは、大学卒業後、就職先での人間関係に馴染めず退職し、自宅に引きこもるようになった。その後、次第に不安神経症を発症し、外出先で他人の姿を見ると身体が硬直し、身動きが取れなくなる症状が出るようになった。Aは、医師による診断の結果、精神障害2級と判定され、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた。

Aは、かねてから政治に強い関心を持ち、精神障害者に対する社会の偏見を是正するような政策を取る候補者に投票したいと考えていた。しかしながら、身体障害者・要介護者等は、在宅での投票が可能な郵便投票制度の対象となっていたが（公職選挙法49条2項）、精神障害者には郵便投票が認められていなかった。このため、Aは、令和3年10月に行われた衆議院議員総選挙において投票を棄権することになった。Aは、精神的原因による投票困難者に対して、選挙権行使の機会を確保する立法措置が執られていないことは憲法上違憲であるとして訴訟を提起した。

[問い]

Aの訴訟に関する憲法上の問題点について、関連する判例に言及しつつ論じなさい（ただし、国家賠償法上の違法性については論じる必要はない）。

問題2（5点）

内閣による衆議院の解散について、憲法69条の場合とそれ以外の場合とに分けて、それぞれ憲法上の根拠を示した上で説明しなさい。